

手作りマスクをいただきました。

4月21日、上町自治会パッチワーク教室（代表 漆原幸子さん）の有志のみなさんより、手作りマスク120枚を寄付していただきました。

マスク作りは、上小地区社会福祉協議会の食事サービスボランティアのみなさんに初めて渡したとき、とても喜んでもらったのがきっかけで、みんなで作り始めたとのこと。

マスクを作るためには、布などの材料がたくさん必要ですが、材料を調達することにとっても苦労したらしく「みなさんの協力があって、調達することができた。教室や近所の皆さんにはとても感謝している。」とのことでした。

なお、いただいたマスクについては、「高齢者の方たちを中心に配布していただきたい。」ということから、町内の介護保険事業者などに配布させていただきました。



5月8日、片柳亜希さん、心咲さん親子より、手作りマスク75枚を寄付していただきました。

マスクがどこにもなく、売っていても高いような状況の中、家族や知り合いなど身近な人に使ってほしいと思ったことをきっかけにマスクを作り始めたとのこと。

布などの材料が売っていなかったため、家にあるあまった布やゴムなどで作ったそうです。「はじめの頃はミシン使いがうまくいかず曲がったりしていましたが途中からは、ノーズワイヤーを入れるなど、工夫して作れるようになりました。」と笑顔で話してくれました。

なお、いただいたマスクについては、「毎日、外に出なければならぬ人たち、子供から大人まで、色々な人に使ってもらいたい。」ということから、ご希望にあった活用をさせていただきます。



フェイスシールドをいただきました。

4月30日、日産自動車株式会社栃木工場より、フェイスシールドを50セット、寄付していただきました。

これは、日産自動車やその関連会社で作られたもので、全社的に「何かしなければ」という風土や、「ものづくりで地域に貢献できれば」という思いから、試作を重ね、社内の産業医から指導を受けながら、完成しました。

なお、いただいたフェイスシールドは、町内の医療関係者にお配りし、診療や検査等で使用させていただきます。

